

2017

ぶうげん
びりあ5
月号

No.287

ホームページ <http://www.hahashouchu.ogasawara.ed.jp>

当たり前だから すばらしい

校長 横山 優美

光と風が気持ちよい季節となりました。新学期が始まって1か月が過ぎようとしています。子供たちは毎日元気に登校し、楽しそうに学校生活を送っています。母島小中学校の子供たちの様子を見て「当たり前だけど、すばらしい」「当たり前だから、すばらしい」と感じたことがあります。

その一つは、新学期初めての全校朝会の場面です。子供たちは朝会が始まる前にはきちんと整列し、静かに待っていました。前に立って話し始めると、みんなしっかりとこちらを向いて話を聞いているのです。よそ見をしている子は一人もいません。整然と朝会が行われるのは、先生方がきちんと話を聞くことの大切さを指導し、子供たちがその意味を理解して行動しているからです。

二つ目は昼食の時です。自宅に戻る子もいますが、小学生の多くは交流室で、みんなそろってお弁当を食べます。食べ終わった後のテーブル拭きについては、新しいルールが決まりました。自分で使ったところを自分で拭き、最後のふきんの片づけは当番制になっていて、当番の人がしっかりと洗ってふきんかけに戻すというルールです。今日は、食べるのが遅くなってしまい、テーブルに残って一人で食べている子がいました。片づけはどうするのかなどと思って見ていると、自分の使ったところはもちろん、みんなの使ったところまでしっかりと拭いて帰って行きました。誰も見ていなければ、ちょっと手を抜いてしまおうかなと思える場面です。やるべきことをきちんとやれる、当たりのことを当たり前のようにできる母島小中学校の子供たち、大変すばらしいです。

二つのことを例に取り上げましたが、「きまり」としてあっても、その意味がしっかりと子供たちに理解されていなくては、きちんとできないのです。「ルールやマナーを守るのは当たり前じゃないの」と言う人もいますが、実は当たり前ではありません。人によって「当たり前」の基準は違います。子供たちは学校生活の中で教えられて、できるようになっているのです。当たりのことを当たり前のようにやっている子供たちをうんと褒めてあげたいと思います。「当たり前」のことはうんと褒める価値があるのです。そう考えると、褒める場面はたくさんあることに気付きます。親や先生の一言で子供は大きく変わります。一言褒められただけでも、心がうきうきして笑顔がこぼれ、明るくなります。褒め言葉は子供を励まし、育てることができるのです。褒め言葉は魔法の一言です。

これからもいろいろな場面で「当たりのことを当たり前のようにできる」母島小中学校の子供たちを育てていきたいと思っています。

校長 佐藤 優

子供たちにあいさつをしながら、毎朝見上げた強い母島の朝日に光輝く小剣先の風景は、今はもうありません…。新しい職場に新鮮な緊張感を感じながらも、ふと、母島の様々な記憶がよみがえってくる瞬間に心がざわついています。

圧倒的な自然のパワー。母島の純粋な子供たち。応援していただいた保護者、島民の皆様方…。それぞれの思いが、少し落ち着かない心にわきあがってきます。

私の生涯に、決して忘れ得ぬかけがえのない母島での生活。母島を去った今、そのあまりにも強烈で尊い重みを思い知らされています。3年間、お世話になりました。皆様、お元気で…。

小学校教諭 大河原 常吉

海の見える大埔（たいぼ）の丘から

香港中心部から北へ車で30分、大埔（たいぼ）の丘の上の学校でこの原稿を書いています。

丘から見下ろす4月の香港はいつも曇りがちで、それがスモッグなのか霧なのかはわかりませんが、母島の澄み切った青い空がふと、懐かしくなります。

日差しの強さや湿度の高さは変わらぬものの、こちらの生活は母島のそれとはだいぶ違います。文化・風習はもちろんのこと、天をつく高層ビルの数々、大陸から押し寄せる人々、どれをとっても戸惑うばかりで、目が回りそうな毎日です。

刺激的な毎日を楽しみつつも、こちらの生活に少し疲れた時には、海を眺めて毎日通勤したこと、中庭で遊ぶ子どもたちのこと、そしてこの文を読んでくださっている皆様のことを思い出して、がんばろうかと思えます。5年間本当にお世話になりました。またいつか、片道切符で母島に行きます。

中学校技術 市岡 洋三

離任式で皆さんに「やりたいと思ったら、何歳からだってはじめられる」といって、私は40歳目前にして、新しい人生をはじめました。そして、この決断が正解だったのか不正解だったのかは、まだわかりません。それはきっとこれからの自分の在り方次第だと考えています。

生徒の皆さんも、こんなおっさんには負けないよう、挑戦することを忘れないでください。何でも楽しめばいいんです。充実した素敵な4年間をありがとうございました。

小学校教諭 橋爪 友紀子

心からの感謝を込めて

子供たちへ＊船に乗って1000kmの旅をし、母島であなたたちに出会いました。緊張と不安でいっぱいだった着任初日。はじけるような笑顔で迎えてくれたみんなの笑顔が忘れられません。私はみんなの事が大好きです♡新たな場所でも「やる気・元気・前向き」で精一杯頑張ります！！

保護者の皆様＊子供を共に育てる車輪の片輪として、私を信頼し、常に温かな目で見守ってくださってありがとうございました。いつも心強い味方でいてくださって、本当にありがとうございました。

地域の皆様＊母島の温かさは、みなさんの心の温かさです。3年間、優しく接していただいてありがとうございました。みなさんからもらった温かさを私は決して忘れません。

～母島に來られた運命に感謝します。母島のみなさん、3年間ありがとうございました～

中学校美術 天野 友景

母島を思う時、簡単に「楽しかった」とか「いい経験になった」というものとは違う気持ちが自分の中にあります。その時々を感じる確かな魅力があると同時に、悩んだこともありました。人々の親切さや夕日の美しさ、ゲートボールの楽しさ…それが日常となり、当たり前ものになってしまった頃には、そこへの感動や感謝を忘れてしまっていたのかも知れません。もう少し時間が経過し、自分の人生の一部としてこの3年間を振り返ったならば、きっとそれは掛け替えのない時間だったと言えるであろうと思います。

僕の息子は生後4か月で母島にやってきました。カメをさわり、ガジュ下から海を眺め、脇浜で砂遊びをして育った「島っこ」です。いつか大きくなった息子と母島を訪れ、ここで過ごした日々を語り聞かせてあげることがささやかな夢です。家族共々、大変お世話になりました。

中学校事務 松土 慎太郎

こんにちは、この原稿を書いている現在は4月の下旬ですが、私はフィリピンに滞在しています。ここで何度も母島について話す機会がありました。外国人を含め話を聞いた人全員が驚き、そして羨ましがりました。母島を離れた今改めてすごいところにいたのだなと実感しています。

そんな母島で、私はとても多くの経験や様々な方との出会い、かけがいのない思い出を得ることができました。2年間とても充実した日々を送ることができました。本当に楽しくてしょうがなかったです。ありがとうございました！

A L T シュマルツ ミッチェル

Hello everyone!

It's already been a month! Unbelievable! As I travel across Japan I think about the students, teachers and islanders of Hahajima every day. Especially when camping in 2C weather! Thanks to you, Hahajima is a place that will always be close to my heart. I'm proud to have met and made friends with everyone. Thank you for sharing an amazing way of life together with me and please let me know when if you're ever in Canada. From 6月 I will return home and get started again as a photographer. So, until we meet again!

小学校教諭 江澤 千佳

母島で出会ったすてきな歌「大切なもの」。母島の素晴らしさが詰まっている歌ですね。この歌を愛し、誇らしげに歌う子供たちの姿が、今も思い浮かびます。そんな母島で貴重な経験をすることができ、島民の方に優しい声をかけていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

自分に求められていることと、自分にできることは何なのか、悩みながら島での特別支援教育をスタートさせました。皆さんの期待に十分に答えることができぬまま1年で島を去ることになりました。

特別支援教育は、限られた子に対する教育ではありません。全ての子に、全ての人達が担うことで、いい教育ができます。母島の皆さんの力でゼロではなく、準備と体制を整えて1年後の春を迎えられることを願っております。

特別支援補助員 稲川 雅敏

2か月と本当に短い期間でしたが、母島小中学校に勤務できたことは、私にとってとても貴重な経験となりました。学校で伸び伸びと生活する姿、目を輝かせながら授業を受ける姿、友達と話し合いながら学習を進める姿、小学生・中学生の皆さんのいろいろな表情に出会うことができました。

これからも皆さんのことを遠くから？近くから？ずっと見守っていければと思います。本当にありがとうございました。

5月の生活指導

生活目標

「お互いを大切にしよう」

- ・あいさつ、正しい、言葉づかいをして、気持ちのよい学校生活をしよう。
- ・思いやりの心をもとう。
- ・悩みごとは、周りの人に相談しよう。

安全指導 1日(月)

指導項目は、「けがに対する注意とけがをした時の対応、海での遊び方」です。遊具の使い方や体育館・校庭等での安全な遊び方について確認します。また、けがをしたときの適切な対処について指導します。海での遊びのルールについても確認をします。

〈海に遊びに行くときのルール〉

小学生は保護者または同等の大人と一緒に行く。

避難訓練 16日(火)

地震が発生し、負傷者が出た場合を想定した避難訓練を行います。

放送の指示をよく聞いて落ちてこない安全な場所に避難し、頭を保護するなど、安全かつ素早く冷静な行動を身に付させます。

第43回運動会について

○日 時

平成29年5月28日(日)

午前9時00分～午後3時30分

(雨天の場合)

- ・6月3日(土)、6月4日(日)に順延します。
雨天順延の場合 5月28日 平常授業

○お願い

- ・車でのご来校はご遠慮ください。
- ・学校敷地内は禁煙です。
- ・天候などにより、競技開始時間が変更、または中止になることがあります。

学校施設の使用について

○学校施設の使用を希望される方は、「学校施設使用申請書」に必要事項を記入して、本校職員室までご持参ください。

○「学校施設使用申請書」は、本校職員室にお申し出いただくか、本校ホームページよりダウンロードしてください。

○年間を通しての使用を希望される場合は、来年4月の学校施設使用団体の代表者会議にご出席いただきます。事前にお申し出ください。

〈緊急連絡メールについて〉

4月27日(木)に、台風接近を想定した集団下校訓練を行いました。メール登録をいただいている保護者の皆様に確実にとメールは配信されましたでしょうか。もし、メールが届いていない、あるいは不都合なことがございましたら、学校までご連絡ください。(今回はメールの配信テストを兼ねています。)

5月の主な行事予定			16	火	眼科検診(全) 避難訓練 振替休業日(中3)
1	月	朝礼(安全指導) 村学力調査(小2~中3)	17	水	行事前検診(小6) 周辺美化
2	火	行事前検診(中3)	18	木	父島移動教室始(小6)
3	水	憲法記念日 こどもの日の集い	19	金	
4	木	みどりの日 PTA総会、歓迎会	20	土	父島移動教室終(小6)
5	金	こどもの日	21	日	
6	土	修学旅行始(中3)	22	月	中朝礼
7	日		23	火	心肺蘇生法講習会
8	月	朝礼	24	水	運動会予行
9	火	家庭訪問終	25	木	運動会予行(予備)
10	水	夢先生(小5・6)	26	金	運動会前日準備
11	木		27	土	(全)耳鼻科検診
12	金		28	日	第43回運動会
13	土		29	月	振替休業日
14	日		30	火	朝礼
15	月	朝礼(保健指導) 修学旅行終(中3)	31	水	